



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第49号
R4.11.2
文責：佐藤

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

1日（火）は風が強くはありましたが、青空が広がり心地よい朝でした。いつものように菅原久和様、齋藤浩幸様、小林理英子様、阿部正一様、那須美紀子様、中村繁喜様、佐々木悟様、三浦浩信様、田口民雄様、齋藤隆一様、岩城駐在所の竹谷英市様があいさつ運動にご協力くださいました。ありがとうございました。

爽やかな一日のスタートを切りました。



6年生が落ち葉を掃除してくれていました。

ラグビーボールのようなおいもが・・・

10月25日（火）の朝、畑の先生伊藤博行様にお手伝いいただきながら、1・2年生、特別支援学級の子どもたちが春に植えたサツマイモを掘りました。

今年は畑にマルチシートを使用し草むしりもがんばったからなのか、ツルの勢いがよく、大きなサツマイモが収穫できました。土の中にサツマイモを見つけるたびに歓声があがり、“ここ掘れワンワン”と言わんばかりの喜びようでした。大きな物はびっくりするほどで、本当にラグビーボールのようでした。

掘り終えた後は、全員でツルを軽トラックに積む作業を行いました。いつの間にかトラックの荷台に上がって積み込んでいる子どもがいて驚きましたが、安全に作業できました。最後の最後まで落ちていたツルをていねいに拾って集めている子どもがいて感心させられました。伊藤様には後片付けまでご協力いただき、本当にありがとうございました。

10月28日（金）の午後には、5年生もサツマイモを掘りました。この後このお芋をどのように調理して食すのでしょうか、みんな楽しみですね。



岩城中学校3本柱見学会



10月26日（水）の午後から、6年生は「岩城中学校3本柱」を見学してきました。岩中の3本柱と言えば、「全校武道」「自問清掃」「黙想」。

全校武道では、体育館への入退場のあいさつや所作、剣道着を身にまとった凛々しい姿、100名以上の生徒が掛け声を合わせて木刀を振る様子から、清々しさと迫力を感じ取りました。6年生も「話をしないように」と指導はされていましたが、中学生の姿に目が釘付けになっているように思えました。その後フロアに下りていき、3年生の先輩から手解きを受けて素振りをマスターすることができました。子どもたちは少々緊張している様子は見られたものの、優しく的確な指導によって楽しそうでもありました。

私は会議のため中学校を後にしましたが、その後の感想を聞いてみると、「自問清掃は話し声が聞かれず、し～んとした中でみんな集中していた。黙想もそれぞれの教室で行っていたけれど、みんな一緒にやってる“一体感”みたいなのがあった。3分間くらいだと思うけれど、すごく長かった。」と話してくれました。

5か月後には6年生もそんな環境に身を置くことになります。今回たくさんの刺激を受けてきたと思いますので、残りの小学校生活をどのように過ごしていくのか自問自答し、進学準備をしていってほしいです。

いわきっこのがんばり

○第5回由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール

〈佐藤憲一顕彰会賞〉 4年 大滝 ** (父 大滝 **)

〈優良賞〉

1年 種村 *

3年 高橋 * 和田サリム***

6年 池田 ** 佐々木 ***

高橋 **

「由利本荘市ガイドライン

新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について（R4.11.1）」を配付しました。